

氏名	中 村 純
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第2937号
学位授与の日付	平成7年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Analysis of molluscum contagiosum virus genomes isolated in Japan (本邦で分離された伝染性軟疣ウイルスゲノムの解析)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 清水 憲二 教授 関 周司

### 学位論文内容の要旨

伝染性軟疣ウイルスの本邦における分子疫学的特徴を調べるために、452患者から分離した477病巣のウイルスゲノムをゲル内制限酵素消化法を用いて解析した。制限酵素 BamHI の切断パターンでウイルスゲノムを分類した結果、1型から4型の4種類に大きく分類可能であった。分離頻度は、1型436例、2型13例、3型24例、4型4例であった。

また、BamHIでの制限酵素地図を作成し、各型間で比較した結果、以下の2点が明らかとなった。①本邦において、1型として同定されたウイルスゲノムは、すべて1型の variant に属するものであった。さらに、分離頻度の順に1va, 1vb, 1vcの3種類に細分類が可能であった。1型ウイルスゲノムにおいて、BamHI認識部位の多様性を生じる領域を1vaの制限酵素地図に求めると、E断片とI断片の接合部近傍に認められた。②今回初めて分離同定された4型は、制限酵素地図の比較において、2型との類縁関係が示唆された

### 論文審査結果の要旨

本研究は本邦の伝染性軟疣患者452例より分離したウイルスのゲノムを著者らが開発したゲル内制限酵素消化法を用いて解析し、本邦由来のウイルスゲノムは、欧米のものとは異なりI型プロトタイプは無くその変異型が多いこと、さらには欧米には認められない型(IV型と命名)が存在することなどを詳細に検討したものであり、大変価値ある業績である。

よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。